

COVID-19 Concept Papers

School of Human Welfare Studies, Kwansai Gakuin University

オピニオン *Opinion*

新型コロナウイルスと格差

～人間福祉学部生に向けて～

武田 丈

関西学院大学人間福祉学部教授・学部長

2020年度の春学期の授業は、新型コロナウイルスの影響で、残念ながらほぼすべてがオンラインとなってしまいました。特に新入生の皆さんにとっては、さまざまな期待をもって人間福祉学部に入學してきたのに、高校までとは異なる慣れない大学での学びをオンラインで受講しなければならぬという状況に加えて、キャンパスにすら足を踏み入れることもできず、クラスメイトや教員に会えなかったり、サークルや部活といった正課外活動に参加できなかったりする日々が続き、フラストレーションがたまっていたのではないかと心配しています。

こうした事態を招いた新型コロナウイルスは、中国の武漢を中心に感染が確認されてから数か月後にはアマゾンの先住民でも感染者が確認されるなど、いとも簡単に世界中に拡がり、多くの尊い命を奪っています。交通機能の発達によって多くの人が簡単に国境を越えられるようになった現代では、残念ながら当然の結果なのかもしれません。

志村けん、阪神タイガースの藤浪晋太郎投手、イギリスのジョンソン首相が感染したように、これも当たり前のことです。ウイルスは人を選びません。しかし、誰でも感染するリスクがあるにも関わらず、残念ながら検査や医療へのアクセスは世界中で平等にあるとは言えません。開発途上国、貧困者、外国人、セックスワーカー、スラムの住人といった周縁化された人たちは、後回しになっている現実があります。社会階層が低い人たちがほど劣悪な環境で健康状態が悪い傾向にあり、抵抗力も弱いため、新型コロナウイルスの感染の可能性や、重篤化の可能性が高くなって

いるのです。アメリカでは、新型コロナウイルスの死者数に関して、ヒスパニックと黒人（アフリカ系）が、白人とアジア系よりも2倍ほど多かったと報告されています。つまり、ウイルスは人を選びませんが、人間が作り出した社会構造や、私たちが持つ偏見や差別によって新型コロナウイルスに関する格差が生み出されているのです。

日本の政府や自治体の新型コロナウイルス対策においても、「休校で仕事を休んだ保護者への助成金は、風俗業は対象外」や「朝鮮学校幼稚部はマスク配布の対象外」といった差別的な運用が批判されました。ステイホームによって、家庭内でのパートナーや子どもへの暴力が増えたという報告もあります。教育においても、オンライン授業を受けるための設備の準備状況の違いから学力の格差が生み出されてしまうという危機感も高まっています。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、どの政府も自国民を守るのに精いっぱい、お互いに国境を封鎖して連携が分断されてしまったり、大国間でいがみ合いが起こったりしています。しかし、いまこそ世界中の人たちが国境、セクシュアリティ、経済格差などを超えて協力し合い、このパンデミックを乗り越えていく必要があると思います。

関西学院では、キャンパス内の性別、年齢、国籍、人種、民族、出身地、主たる言語、宗教・信仰、身体的・精神的特徴、セクシュアリティ、あるいは経験や知識、文化や学問的背景などの多様性（ダイバーシティ）を尊び、すべての人にあらゆることにチャレンジする機会を提供する、公正で開かれた「垣

根なき共同体」を目指す「インクルーシブ・コミュニティ宣言」が2014年に制定され、そしてその具体的な基本方針と行動指針

(https://www.kwansei.ac.jp/kikaku/kikaku_003750.html)がコロナ渦にある2020年4月に発表されました。インクルーシブ・コミュニティやインクルーシブ社会の実現に貢献するために必要な価値観、知識、技法

を学べるのが人間福祉学部です。是非、人間福祉学部の学びを通して、新型コロナウイルスによって生じるさまざまな「格差」にどのように立ち向かえばいいのか、自分は何ができるのか、何をすべきなのかを考えてもらえればと思います。

以上